

学校コード F227310108632
注3

設置年度 令和 5年度
計画の区分： 短大の学科の設置
注1

届出

注2
大阪健康福祉短期大学 地域総合介護福祉学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人みどり学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	シム 事務センター
職名・氏名	シムチョウ フクシマ マリ 事務長 福嶋 真理
電話番号	072-292-6625
(夜間)	072-292-6625
e-mail	m.fukushima@kenko-fukushi.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

＜地域総合介護福祉学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人みどり学園

(2) 大 学 名

大阪健康福祉短期大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒692-0404

島根県安来市広瀬町広瀬753-15

(本部：〒590-0117 大阪府堺市南区高倉台1丁2-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ヒラオ タツオ) 平尾 達夫 (昭和55年1月16日)	該当なし	
学 長	(マナベ ユタカ) 眞鍋 穰 (平成29年4月1日)	該当なし	
学 部 長	該当なし	該当なし	
学科長等	(カタタ チサ) 堅田 知佐 (令和4年4月1日)	該当なし	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
地域総合 介護福祉学科 短期大学士 (介護福祉学)	社会学・社会 福祉学関係	2 年	15 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	30 人	—	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	—	—	—	—	—	—	—	—	15人 (-) [-]	—人 (-) [-]	15人 (-) [-]	—人 (-) [-]	0.29倍	—	0.30倍	—	
志願者数	—	—	—	—	—	—	—	—	5 (-) [4]	— (-) [-]	8 (-) [1]	— (-) [-]					
受験者数	—	—	—	—	—	—	—	—	5 (-) [4]	— (-) [-]	8 (-) [1]	— (-) [-]					
合格者数	—	—	—	—	—	—	—	—	3 (-) [2]	— (-) [-]	8 (-) [1]	— (-) [-]					
B 入学者数	—	—	—	—	—	—	—	—	2 (-) [1]	— (-) [-]	7 (-) [-]	— (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.13	—	0.46	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
- なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 [2] (-)	- [-] (-)	7 [-] (-)	- [-] (-)	令和5年度2年次に介護福祉学科（安来キャンパスコース）より留年生2名が転入
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	- [-] (-)	- [-] (-)	5 [2] (2)	- [-] (-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							-	-	-	-	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計							-	-	-	-	3 [2] (-)	-	12 [2] (2)	-	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	3 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
令和5年度	12 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<地域総合介護福祉学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人間と 社会	人間論	1後	2								1
	人間関係とコミュニケーションⅠ	1前	2								1
	人間関係とコミュニケーションⅡ	1前			2						1
	生活と社会福祉Ⅰ	1前	2								
	生活と社会福祉Ⅱ	1後	2			1					
	地域社会における福祉専門職の役割	2後			2	1					
	日本の生活文化	1前	1								1
	ソーシャルワーク論	1後	1								1
	日本国憲法	1前	2								1
	小計(9科目)		12	0	4	1					兼5
介護	介護の基本	1前	2								1
	介護対象者論Ⅰ	1後	2								1
	介護対象者論Ⅱ	2前	2			1					
	尊厳と自立を支える介護	2後	2			1					
	リハビリテーション論	2前			2						1
	家政学概論	2後			2						1
	介護現場におけるコミュニケーション技術	1後	1			1					
	視覚障がい者とのコミュニケーション	2前			1						1
	聴覚障がい者とのコミュニケーション	2前			1						1
	生活支援技術Ⅰ	1前	2			2					
	生活支援技術Ⅱ	1後	2			2					
	生活支援技術Ⅲ	2前			2	2					
	生活支援技術Ⅳ	2後			2			1			
	生活環境の整備	2後	1								1
	栄養・調理の方法	2前	1								1
	介護過程の基本	1前	2			1					
	介護過程の展開Ⅰ	1後			2	2					
	介護過程の展開Ⅱ	2前			2	2					
	介護過程の実践的展開	2後			1						1
	ケアマネジメント論	2前	2								1
	介護総合演習Ⅰ	1前			1	1					
	介護総合演習Ⅱ	1後			1	1		1			
	介護総合演習Ⅲ	2前			1	2					
	介護総合演習Ⅳ	1後～2後			1	1		1			
	介護福祉研究法	2前～3後			2	3		1			
	介護実習Ⅰ(体験実習Ⅰ)	1前			2	3		1			
	介護実習Ⅰ(体験実習Ⅱ)	1前			2	3		1			
	介護実習Ⅰ(体験実習Ⅲ)	2前			2	3		1			
	介護実習Ⅰ(体験実習Ⅳ)	2後			2	3		1			
	介護実習Ⅱ(展開実習A)	1後			4	3		1			
	介護実習Ⅱ(展開実習B)	2前			4	3		1			
	小計(31科目)		19	0	37	3	0	1	0	0	兼9

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人間と 社会	人間論	1後	2								1
	人間関係とコミュニケーションⅠ	1前	2								1
	人間関係とコミュニケーションⅡ	1前			2						1
	生活と社会福祉Ⅰ	1前	2			1					
	生活と社会福祉Ⅱ	1後	2			1					
	地域社会における福祉専門職の役割	2後			2	1					
	日本の生活文化	1前	1								1
	ソーシャルワーク論	1後	1			1					
	日本国憲法	1前	1								1
	小計(9科目)		12	0	4	1					兼4
介護	介護の基本	1前	2			1					
	介護対象者論Ⅰ	1後	2			1					
	介護対象者論Ⅱ	2前	2			1					
	尊厳と自立を支える介護	2後	2			1					
	リハビリテーション論	2前			2						
	家政学概論	2後			2						
	介護現場におけるコミュニケーション技術	1後	1			1					1
	視覚障がい者とのコミュニケーション	2前			1						1
	聴覚障がい者とのコミュニケーション	2前			1						1
	生活支援技術Ⅰ	1前	2					1			1
	生活支援技術Ⅱ	1後	2			1		1			
	生活支援技術Ⅲ	2前			2			1			1
	生活支援技術Ⅳ	2後			2			1			1
	生活環境の整備	2後	1								
	栄養・調理の方法	2前	1								
	介護過程の基本	1前	2			1					
	介護過程の展開Ⅰ	1後			2	2					
	介護過程の展開Ⅱ	2前			2	2					
	介護過程の実践的展開	2後			1	1					
	ケアマネジメント論	2前	2			1					
	介護総合演習Ⅰ	1前			1	1					
	介護総合演習Ⅱ	1後			1	1		1			
	介護総合演習Ⅲ	2前			1	1					
	介護総合演習Ⅳ	1後～2後			1	1					
	介護福祉研究法	2前～3後			2	3		1			
	介護実習Ⅰ(体験実習Ⅰ)	1前			2	3		1			
	介護実習Ⅰ(体験実習Ⅱ)	1前			2	3		1			
	介護実習Ⅰ(体験実習Ⅲ)	2前			2	3		1			
	介護実習Ⅰ(体験実習Ⅳ)	2後			2	3		1			
	介護実習Ⅱ(展開実習A)	1後			4	3		1			
	介護実習Ⅱ(展開実習B)	2前			4	3		1			
	小計(31科目)		19	0	37	3	0	1	0	0	兼5

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
こころとからだのしくみ	こころのしくみ	1前			2						1
	からだのしくみ	1前			2			1			
	生活に関連したこころとからだのしくみ	1後	4								1
	精神保健	1後			2						1
	発達と老化の心理学	1後		2							1
	老化と高齢者の健康	1後		2							1
	認知症のケアⅠ	1前	2								1
	認知症のケアⅡ	1後			2						1
	障がいの医学的理解	1前			2						1
	障がいの理解	1前	2								1
小計(10科目)			8	4	10	0	0	1	0	0	兼6
医 療 的 ケ ア	医療的ケア概論Ⅰ	2前			2			1			1
	医療的ケア概論Ⅱ	2後			2			1			1
	医療的ケア演習	2後			1			1			1
	小計(3科目)			5	0	0	0	0	1	0	0
本 学 独 自 科 目	キャリアアップ教育Ⅰ	1前			1						
	キャリアアップ教育Ⅱ	1後	1								1
	キャリアアップ教育Ⅲ	2前	1								1
	キャリアアップ教育Ⅳ	2後			1						1
	地域文化の創造	1前～2後	1			3					
	国家試験基礎演習	1後～2後			1	3					
	小計(6科目)			3	0	3	3	0	0	0	0
合計(59科目)			47	4	54	3	0	1	0	0	兼18
卒業要件及び履修方法											

【令和5年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
こころとからだのしくみ	こころのしくみ	1前			2						1
	からだのしくみ	1前			2			1			
	生活に関連したこころとからだのしくみ	1後	4					1			
	精神保健	1後			2						1
	発達と老化の心理学	1後		2							1
	老化と高齢者の健康	1後		2				1			
	認知症のケアⅠ	1前	2					1			
	認知症のケアⅡ	1後			2			1			
	障がいの医学的理解	1前			2			1			
	障がいの理解	1前	2								1
小計(10科目)			8	4	10	0	0	1	0	0	兼4
医 療 的 ケ ア	医療的ケア概論Ⅰ	2前			2			1			
	医療的ケア概論Ⅱ	2後			2			1			
	医療的ケア演習	2後			1			1			
	小計(3科目)		5	0	0	0	0	1	0	0	兼0
本 学 独 自 科 目	キャリアアップ教育Ⅰ	1前			1						1
	キャリアアップ教育Ⅱ	1後	1								1
	キャリアアップ教育Ⅲ	2前	1								1
	キャリアアップ教育Ⅳ	2後			1						1
	地域文化の創造	1前～2後	1			3					
	国家試験基礎演習	1後～2後			1	3					
小計(6科目)			3	0	3	3	0	0	0	0	兼1
合計(59科目)			47	4	54	3	0	1	0	0	兼14
卒業要件及び履修方法											

【令和４年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
人間と社会	人間論	1後	2								1
	人間関係とコミュニケーションⅠ	1前	2								1
	人間関係とコミュニケーションⅡ	1前			2						1
	生活と社会福祉Ⅰ	1前	2								
	生活と社会福祉Ⅱ	1後	2			1					
	地域社会における福祉専門職の役割	2後			2	1					
	日本の生活文化	1前	1								1
	ソーシャルワーク論	1後	1				1		1		1
	日本国憲法	1前	1								1
	小計(9科目)		12	0	4	1					兼5
介護	介護の基本	1前	2								
	介護対象者論Ⅰ	1後	2								
	介護対象者論Ⅱ	2前	2			1					
	尊厳と自立を支える介護	2後	2			1					
	リハビリテーション論	2前			2						
	家政学概論	2後			2						
	介護現場におけるコミュニケーション技術	1後	1			1					
	視覚障がい者とのコミュニケーション	2前			1						
	聴覚障がい者とのコミュニケーション	2前			1						
	生活支援技術Ⅰ	1前	2			2					
	生活支援技術Ⅱ	1後	2			2					
	生活支援技術Ⅲ	2前			2	2					
	生活支援技術Ⅳ	2後			2			1			
	生活環境の整備	2後	1								
	栄養・調理の方法	2前	1								
	介護過程の基本	1前	2			1					
	介護過程の展開Ⅰ	1後			2	2					
	介護過程の展開Ⅱ	2前			2	2					
	介護過程の実践的展開	2後			1						
	ケアマネジメント論	2前	2								
	介護総合演習Ⅰ	1前			1	1					
	介護総合演習Ⅱ	1後			1	1		1			
	介護総合演習Ⅲ	2前			1	2					
	介護総合演習Ⅳ	1後～2後			1	1		1			
	介護福祉研究法	2前～3後			2	3		1			
	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅰ）	1前			2	3		1			
	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅱ）	1前			2	3		1			
	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅲ）	2前			2	3		1			
	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅳ）	2後			2	3		1			
	介護実習Ⅱ（展開実習A）	1後			4	3		1			
	介護実習Ⅱ（展開実習B）	2前			4	3		1			
	小計(31科目)		19	0	37	3	0	1	0	0	兼9

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
こころとからだのしくみ	こころのしくみ	1前			2						1
	からだのしくみ	1前			2			1			
	生活に関連したこころとからだのしくみ	1後	4								1
	精神保健	1後			2						1
	発達と老化の心理学	1後		2							1
	老化と高齢者の健康	1後		2							1
	認知症のケアⅠ	1前	2								1
	認知症のケアⅡ	1後			2						1
	障がいの医学的理解	1前			2						1
	障がいの理解	1前	2								1
小計(10科目)			8	4	10	0	0	1	0	0	兼6
医 療 的 ケ ア	医療的ケア概論Ⅰ	2前			2			1			1
	医療的ケア概論Ⅱ	2後			2			1			1
	医療的ケア演習	2後			1			1			1
	小計(3科目)		5	0	0	0	0	1	0	0	兼1
本 学 独 自 科 目	キャリアアップ教育Ⅰ	1前			1						1
	キャリアアップ教育Ⅱ	1後	1								1
	キャリアアップ教育Ⅲ	2前	1								1
	キャリアアップ教育Ⅳ	2後			1						1
	地域文化の創造	1前～2後	1			3					
	国家試験基礎演習	1後～2後			1	3					
	小計(6科目)		3	0	3	3	0	0	0	0	兼1
合計(59科目)			47	4	54	3	0	1	0	0	兼18
卒業要件及び履修方法											

（１）－②授業科目表に関する変更内容

【令和４年度】

（記入例）
・ 特になし。

【令和５年度】

（記入例）
・ 兼任兼任教員から専任教員への変更により「生活と社会福祉Ⅰ」「ソーシャルワーク論」「介護の基本」「介護対象者論Ⅰ」の専任教員の配置を「兼任兼任教員」から「教授」に変更。
・ 専任教員の辞任により、「生活支援技術Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授」2名から「准教授」「兼任兼任教員」に変更。
・ 専任教員の辞任により、「生活支援技術Ⅱ」の専任教員の配置を「教授」2名から「准教授」「講師」に変更。
・ 専任教員の辞任により、「生活支援技術Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授」2名から「講師」「兼任兼任教員」に変更。
・ 専任教員の辞任により、「生活支援技術Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授」2名から「講師」「兼任兼任教員」に変更。
・ 専任教員の辞任により、「介護総合演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授」1名「講師」1名から「教授」1名「講師」1名に変更。
・ 専任教員の辞任により、「介護総合演習Ⅲ」の専任教員の配置を「教授」2名から「教授」1名に変更。
・ 専任教員の辞任により、「介護総合演習Ⅳ」の専任教員の配置を「教授」1名「講師」1名から「教授」1名に変更。
・ 兼任講師から専任教員への変更により、「からだのしくみ」「老化と高齢者の健康」「認知症のケアⅠ」「認知症のケアⅡ」「障がいの医学的理解」の専任教員の配置を「兼任兼任教員」から「講師」に変更。
・ 専任教員の辞任により、「医療的ケア概論Ⅰ」「医療的ケア概論Ⅱ」「医療的ケア演習」の専任教員の配置を「講師」から新たに採用した「講師」に変更。

- （注）
- ・ 2（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和４年度開設であれば令和３年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
47 科目	4 科目	54 科目	59 科目	- 科目 [-]	- 科目 [-]	- 科目 [-]	- 科目 [-]	変更なし

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						該当なし
3						該当なし

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						該当なし
3						該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{59} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	0㎡	1,397㎡	0㎡	1,397㎡			
	運動場用地	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	小 計	0㎡	1,397㎡	0㎡	1,397㎡			
	そ の 他	0㎡	2,844㎡	0㎡	2,844㎡			
	合 計	0㎡	4,241㎡	0㎡	4,241			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		102.40㎡ (102.40㎡)	1,793.56㎡ (1,793.56㎡)	427.09㎡ (427.09㎡)	2,323.05㎡ (2,323.05㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	4室	3室	2室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		地域総合介護福祉学科		4 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	地域総合介護福祉学部	2,878 [0] (2,878 [0])	16 [0] (16 [0])	0 [0] (0 [0])	30 (30)	5 (5)	0 (0)	
	計	2,878 [0] (2,878 [0])	16 [0] (16 [0])	0 [0] (0 [0])	30 (30)	5 (5)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	110.25㎡	20		25,000				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	0㎡	該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	150千円	150千円	図書購入費	千円	150千円	150千円
	学生1人当り 納付金	共 同 研 究 費 等	100千円	100千円	設備購入費	千円	120千円	120千円
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,120千円	900千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし				

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		大阪健康福祉短期大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	1	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	0	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考						
	年	人	年次 人	人		倍		倍	倍	年度	年度								
介護福祉学科	2	15	－	30	短期大学士 (介護福祉学)	0.96	－	0.96	－	－	平成14	大阪府堺市南区 高倉台1丁2-1							
子ども福祉学科	2	50	－	100	短期大学士 (教育学・ 保育学)	0.85	－	0.85	－	－	平成18	同上							
保育・幼児教育学科	2	40	－	80	短期大学士 (教育学・ 保育学)	1.03	－	1.03	－	－	平成30	島根県松江市西 川津町4280							
地域総合介護福祉学科	2	15	－	30	短期大学士 (介護福祉学)	0.29	－	0.30	－	－		島根県安来市広 瀬町広瀬753-15							
大学全体	2	120	－	240	－	－	－	－	－	－	－	－							

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。□
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合は、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<地域総合介護福祉学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	堅田 知佐 (48) <令和4年4月> 社会福祉学修士	生活と社会福祉Ⅱ 地域社会における福祉専門職の役割 介護対象者論 介護介護現場におけるコミュニケーション技術 介護課程の基本 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅰ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅱ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅲ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅳ) 介護実習Ⅱ (展開実習A) 介護実習Ⅱ (展開実習B) 地域文化の創造 国家試験基礎演習
		松永 智也 (49) <令和4年4月> 社会福祉学修士、介護福祉士	尊厳と自立を支える介護 生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 介護過程の展開Ⅰ 介護過程の展開Ⅱ 介護総合演習Ⅱ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅰ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅱ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅲ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅳ) 介護実習Ⅱ (展開実習A) 介護実習Ⅱ (展開実習B) 地域文化の創造 国家試験基礎演習
専	教授	小田 史 (51) <令和4年4月> 応用社会学修士、介護福祉士	生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 介護過程の展開Ⅰ 介護過程の展開Ⅱ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅰ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅱ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅲ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅳ) 介護実習Ⅱ (展開実習A) 介護実習Ⅱ (展開実習B) 地域文化の創造 国家試験基礎演習

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	堅田 知佐 (48) <令和4年4月> 社会福祉学修士	生活と社会福祉Ⅱ 地域社会における福祉専門職の役割 介護対象者論 介護介護現場におけるコミュニケーション技術 介護課程の基本 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅰ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅱ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅲ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅳ) 介護実習Ⅱ (展開実習A) 介護実習Ⅱ (展開実習B) 地域文化の創造 国家試験基礎演習 介護過程の展開Ⅰ 介護過程の展開Ⅱ ケアマネジメント論
		松永 智也 (49) <令和4年4月> 社会福祉学修士、介護福祉士	尊厳と自立を支える介護 生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 介護総合演習Ⅱ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅰ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅱ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅲ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅳ) 介護実習Ⅱ (展開実習A) 介護実習Ⅱ (展開実習B) 地域文化の創造 国家試験基礎演習
専	教授	小田 史 (51) <令和4年4月> 応用社会学修士、介護福祉士	生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 介護過程の展開Ⅰ 介護過程の展開Ⅱ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅰ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅱ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅲ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅳ) 介護実習Ⅱ (展開実習A) 介護実習Ⅱ (展開実習B) 地域文化の創造 国家試験基礎演習

【令和5年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	堅田 知佐 (48) <令和4年4月> 社会福祉学修士	生活と社会福祉Ⅱ 地域社会における福祉専門職の役割 介護対象者論 介護介護現場におけるコミュニケーション技術 介護課程の基本 介護総合演習Ⅰ 介護総合演習Ⅱ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅰ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅱ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅲ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅳ) 介護実習Ⅱ (展開実習A) 介護実習Ⅱ (展開実習B) 地域文化の創造 国家試験基礎演習 介護過程の展開Ⅰ 介護過程の展開Ⅱ ケアマネジメント論 介護総合演習Ⅲ
		上山 小百合 (47) <令和5年4月> 社会福祉学修士、介護福祉士	生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 介護総合演習Ⅳ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅰ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅱ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅲ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅳ) 介護実習Ⅱ (展開実習A) 介護実習Ⅱ (展開実習B) 国家試験基礎演習
専	教授	石田 一紀 (73) <令和5年10月>	ソーシャルワーク論 介護対象者論Ⅰ 介護過程の展開Ⅰ 介護過程の実践的展開 尊厳と自立を支える介護 介護福祉研究法 生活と社会福祉Ⅰ 介護の基本 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅰ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅱ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅲ) 介護実習Ⅰ (体験実習Ⅳ) 介護実習Ⅱ (展開実習A) 介護実習Ⅱ (展開実習B)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	納谷 朝子 (57) 看護師、介護支援専門員
		生活支援技術Ⅳ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅳ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ（体験実習Ⅰ） 介護実習Ⅰ（体験実習Ⅱ） 介護実習Ⅰ（体験実習Ⅲ） 介護実習Ⅰ（体験実習Ⅳ） 介護実習Ⅱ（展開実習A） 介護実習Ⅱ（体験実習B） からだのしくみ 医療的ケア概論Ⅰ 医療的ケア概論Ⅱ 医療的ケア演習
兼任	講師	片平 誓子 (59) ＜令和4年4月＞ 社会科学修士
		人間関係とコミュニケーションⅠ 人間関係とコミュニケーションⅡ
兼任	講師	磯部 美津子 (73) ＜令和4年4月＞ 人間生活学修士
		家政学概論
兼任	講師	木村 昌実 (66) ＜令和4年4月＞ 理学療法士
		リハビリテーション論
兼任	講師	石田 一紀 (71) ＜令和4年4月＞ 保健福祉学博士
		生活と社会福祉Ⅰ ソーシャルワーク論 介護の基本 介護対象者論
兼任	講師	吉岡 伸一 (65) 医学博士
		精神保健
兼任	講師	堅田 弘行 (38) 教育学修士
		こころのしくみ 発達と老化の心理学
兼任	講師	林 政彦 (50) 社会福祉学修士
		ケアマネジメント論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	納谷 朝子 (57) 看護師、介護支援専門員
		生活支援技術Ⅳ 介護総合演習Ⅱ 介護総合演習Ⅳ 介護福祉研究法 介護実習Ⅰ（体験実習Ⅰ） 介護実習Ⅰ（体験実習Ⅱ） 介護実習Ⅰ（体験実習Ⅲ） 介護実習Ⅰ（体験実習Ⅳ） 介護実習Ⅱ（展開実習A） 介護実習Ⅱ（体験実習B） からだのしくみ 医療的ケア概論Ⅰ 医療的ケア概論Ⅱ 医療的ケア演習
兼任	講師	片平 誓子 (59) ＜令和4年4月＞ 社会科学修士
		人間関係とコミュニケーションⅠ 人間関係とコミュニケーションⅡ
兼任	講師	磯部 美津子 (73) ＜令和4年4月＞ 人間生活学修士
		家政学概論
兼任	講師	木村 昌実 (66) ＜令和4年4月＞ 理学療法士
		リハビリテーション論
兼任	講師	石田 一紀 (71) ＜令和4年4月＞ 保健福祉学博士
		生活と社会福祉Ⅰ ソーシャルワーク論 介護の基本 介護対象者論
兼任	講師	納谷 朝子 (57) 看護師、介護支援専門員
		精神保健 認知症のケアⅠ
兼任	講師	堅田 弘行 (38) 教育学修士
		こころのしくみ 発達と老化の心理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	三浦 信子 (60) (令和5年10月) 看護師
		生活支援技術Ⅱ 生活支援技術Ⅲ 生活支援技術Ⅳ 介護総合演習Ⅱ からだのしくみ 生活に関連したところとからだのしくみ 障がいの医学的理解 老化と高齢者の健康 医療的ケア概論Ⅰ 医療的ケア概論Ⅱ 医療的ケア演習 認知症のケアⅠ 認知症のケアⅡ 介護福祉研究法 地域文化の創造 国家試験基礎演習
兼任	講師	片平 誓子 (60) ＜令和4年4月＞ 社会科学修士
		人間関係とコミュニケーションⅠ 人間関係とコミュニケーションⅡ
兼任	講師	磯部 美津子 (74) ＜令和4年4月＞ 人間生活学修士
		家政学概論
兼任	講師	木村 昌実 (67) ＜令和4年4月＞ 理学療法士
		リハビリテーション論
兼任	講師	吉岡 伸一 (66) (令和4年4月) 医学博士
		精神保健
兼任	講師	堅田 弘行 (38) (令和4年4月) 教育学修士
		こころのしくみ 発達と老化の心理学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石丸 直樹 (43) 法学士
		キャリアアップ教育Ⅰ キャリアアップ教育Ⅱ キャリアアップ教育Ⅲ キャリアアップ教育Ⅳ 介護現場におけるコミュニケーション技術
兼任	講師	藪内 和子 (77) ＜令和4年4月＞ 安来節家元四代目渡部お糸
		日本の生活文化
兼任	講師	秋山 智久 (81) ＜令和4年4月＞ 社会福祉学博士
		人間論
兼任	講師	京 俊輔 (47) ＜令和4年4月＞ 社会福祉学修士
		障がいの理解
兼任	講師	庄司 健 (48) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		視覚障害者とのコミュニケーション
兼任	講師	土江 由美 (61) ＜令和4年4月＞ 短期大学士
		栄養と調理の方法
兼任	講師	大瀧 浩司 (61) ＜令和4年4月＞ 聾学校
		視覚障害者とのコミュニケーション
兼任	講師	永松 正則 (49) ＜令和4年4月＞ 法学博士
		日本国憲法
兼任	講師	奈良井 謙 (39) ＜令和4年4月＞ 介護福祉士
		生活環境の整備
兼任	講師	林原 豊 (46) 介護福祉士
		生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 介護過程の実践的展開 認知症のケアⅠ 認知症のケアⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石丸 直樹 (44) 法学士
		キャリアアップ教育Ⅰ キャリアアップ教育Ⅱ キャリアアップ教育Ⅲ キャリアアップ教育Ⅳ 介護現場におけるコミュニケーション技術 介護対象者論Ⅱ
兼任	講師	藪内 和子 (77) ＜令和4年4月＞ 安来節家元四代目渡部お糸
		日本の生活文化
兼任	講師	秋山 智久 (81) ＜令和4年4月＞ 社会福祉学博士
		人間論
兼任	講師	京 俊輔 (47) ＜令和4年4月＞ 社会福祉学修士
		障がいの理解
兼任	講師	庄司 健 (48) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		視覚障害者とのコミュニケーション
兼任	講師	土江 由美 (61) ＜令和4年4月＞ 短期大学士
		栄養と調理の方法
兼任	講師	大瀧 浩司 (61) ＜令和4年4月＞ 聾学校
		視覚障害者とのコミュニケーション
兼任	講師	永松 正則 (49) ＜令和4年4月＞ 法学博士
		日本国憲法
兼任	講師	奈良井 謙 (39) ＜令和4年4月＞ 介護福祉士
		生活環境の整備
兼任	講師	林原 豊 (46) 介護福祉士
		生活支援技術Ⅰ 生活支援技術Ⅱ 介護過程の実践的展開 認知症のケアⅡ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石丸 直樹 (45) 法学士
		キャリアアップ教育Ⅰ キャリアアップ教育Ⅱ キャリアアップ教育Ⅲ キャリアアップ教育Ⅳ 介護現場におけるコミュニケーション技術 介護対象者論Ⅱ
兼任	講師	藪内 和子 (78) ＜令和4年4月＞ 安来節家元四代目渡部お糸
		日本の生活文化
兼任	講師	秋山 智久 (82) ＜令和4年4月＞ 社会福祉学博士
		人間論
兼任	講師	京 俊輔 (48) ＜令和4年4月＞ 社会福祉学修士
		障がいの理解
兼任	講師	伊藤 聡 (31) ＜令和5年4月＞
		視覚障害者とのコミュニケーション
兼任	講師	土江 由美 (62) ＜令和4年4月＞ 短期大学士
		栄養と調理の方法
兼任	講師	大瀧 浩司 (62) ＜令和4年4月＞ 聾学校
		視覚障害者とのコミュニケーション
兼任	講師	永松 正則 (50) ＜令和4年4月＞ 法学博士
		日本国憲法
兼任	講師	奈良井 謙 (40) ＜令和4年4月＞ 介護福祉士
		生活環境の整備
兼任	講師	野津 暁彦 (47) (令和5年4月)
		介護福祉士、理学療法士
兼任	講師	生活支援技術Ⅲ 生活支援技術Ⅳ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	三浦 信子 (60) 看護師
		障がいの医療的理解 生活に関連板こころとからだの しくみ 医療的ケア概論Ⅰ 医療的ケア概論Ⅱ 医療的ケア実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	三浦 信子 (60) 看護師
		障がいの医療的理解 生活に関連板こころとからだの しくみ 生活支援技術Ⅰ 医療的ケア概論Ⅰ 医療的ケア概論Ⅱ 医療的ケア実習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小関 健太郎 (39) (令和5年4月)
		生活支援技術Ⅰ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリ)の授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】 介護過程の展開Ⅰ、介護過程の展開Ⅱ、認知症のケアⅠ、介護対象者論、生活支援技術Ⅰの科目は、時間割編成の都合による。 ケアマネジメント論は、兼任講師の都合による。
【令和5年度】 ・令和5年4月石田一紀教授就任。 ・令和5年4月上山小百合准教授就任。 ・令和5年4月三浦信子講師就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
4 名	2 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
3	0	1	0	4	0	2	1	1	0	4	0
(3)	(0)	(1)	(0)	(4)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
2	1	1	0	4	0	2	1	1	0	4	0
[Δ 1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[Δ 1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{4}{4} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{4} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由
(3)－① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
－	－			必修			－						
				選択	－	－							
				必修	－	－							
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
2	教授	松永智也	令和5年3月31日	必修	尊厳と自立を支える介護	①	令和5年3月31日一身上の都合のため辞任（４）						
				必修	生活支援技術Ⅰ	①							
				必修	生活支援技術Ⅱ	①							
				必修	生活支援技術Ⅲ	①							
				必修	介護総合演習Ⅱ	①							
				必修	介護福祉研究法	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅰ）	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅱ）	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅲ）	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅳ）	①							
				必修	介護実習Ⅱ（展開実習A）	①							
				必修	介護実習Ⅱ（展開実習B）	①							
				必修	地域文化の創造	①							
				必修	国家試験基礎演習	①							
	教授	小田史	令和5年3月31日	必須	生活支援技術Ⅰ	①	同大学研究センターに移動（４）						
				必須	生活支援技術Ⅱ	①							
				必須	生活支援技術Ⅲ	①							
				必須	介護過程の展開Ⅰ	①							
				必須	介護過程の展開Ⅱ	①							
				必須	介護福祉研究法	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅰ）	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅱ）	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅲ）	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅳ）	①							
				必修	介護実習Ⅱ（展開実習A）	①							
				必修	介護実習Ⅱ（展開実習B）	①							
				必修	地域文化の創造	①							
				必修	国家試験基礎演習	①							
	講師	納谷朝子	令和5年3月31日	必須	生活支援技術Ⅳ	①	令和5年3月31日一身上の都合のため辞任（４）						
				必修	介護総合演習Ⅱ	①							
				必修	介護総合演習Ⅳ	①							
				必修	介護福祉研究法	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅰ）	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅱ）	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅲ）	①							
				必修	介護実習Ⅰ（体験実習Ⅳ）	①							
				必修	介護実習Ⅱ（展開実習A）	①							
				必修	介護実習Ⅱ（展開実習B）	①							
				必修	からだのしくみ	①							
				必修	医療的ケア概論Ⅰ	①							
				必修	医療的ケア概論Ⅱ	①							
				必修	医療的ケア演習	①							
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
3	人	必修	20	科目	必修	20	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	20	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)			
3	人	必修	20 科目	必修	20	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0 科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	20 科目	計	20	科目	計	0	科目	計	0	科目	

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

3

4

=

75

%

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3

人

- (注) ・ (3)－①、(3)－②で**赤字**で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3)－⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況		辞任等の理由					
-	-	-	必修	-	-	-	-						
			選択	-	-	-							
			必修	-	-	-							
合計						後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

クラスミーティングにて学科長より学年別に口頭にて説明した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（４）（５）」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（５）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<地域総合介護福祉学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 学科会議、FD・SD委員会を設置 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 学科会議：月2回開催 構成員は学科の専任教員及び事務職員 FD・SD委員会：年6～7回開催 構成員は各学科長、各学科から選出された委員、事務職員から選出された委員 c 委員会の審議事項等 学科会議：教育計画およびその実施に関すること、授業改善および学生の状況に関すること、個人研究ならびに共同研究に関すること、点検・評価に関すること、学生支援に関すること 等 FD・SD委員会：FD、SDの活動の推進に関する企画・立案及び実施にあたりとともにFD、SDの活動にかかる事項を処理する。 ② 実施状況 a 実施内容 ・ 授業改善等についての研修会 ・ ティーチング・ポートフォリオの作成 等 b 実施方法 ・ 7月下旬に全学教職員参加による研修会を実施予定 ・ FD・SD委員会より全専任教員にティーチング・ポートフォリオの提出を求め、提出されたものを学内教員間で共有する。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 令和4年7月23日に全教職員の参加で研修会を行った（基調講演、事例検討等）。 ・ 一定数の専任教員より提出されたティーチング・ポートフォリオを学内教員間で共有した。今年度も引き続き、提出を求めている。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 全教員にて担当科目の授業総括を行い、改善点を踏まえて次年度シラバスを作成し授業に反映している。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 各セメスターの授業終了時期に実施 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・ 各教員へは担当科目のアンケート結果を提示している。 ・ 学生に対しては口頭にて結果を説明している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・ 地域に求められる介護人材育成のため、地元の福祉関連団体との介護ニーズを共有し、授業内容に反映している。人口減少で高齢化が急速に進む地域の実態について、地域での様々な活動に学生が参加することによって課題の把握が進んでいるものと考えられる。また、卒業論文では地域における介護福祉課題をテーマに設定し、研究結果を研究対象である地元の福祉関連団体等に返すことを通し、地域と本学との教育連携、地域の福祉課題解決に向けた協働の取り組みが徐々に進んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 令和5年7月 公表予定

b 公表方法

- ・ 大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和5年に評価機関（一般財団法人大学・短期大学基準協会）の評価を受けるべく、申請を行った。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。